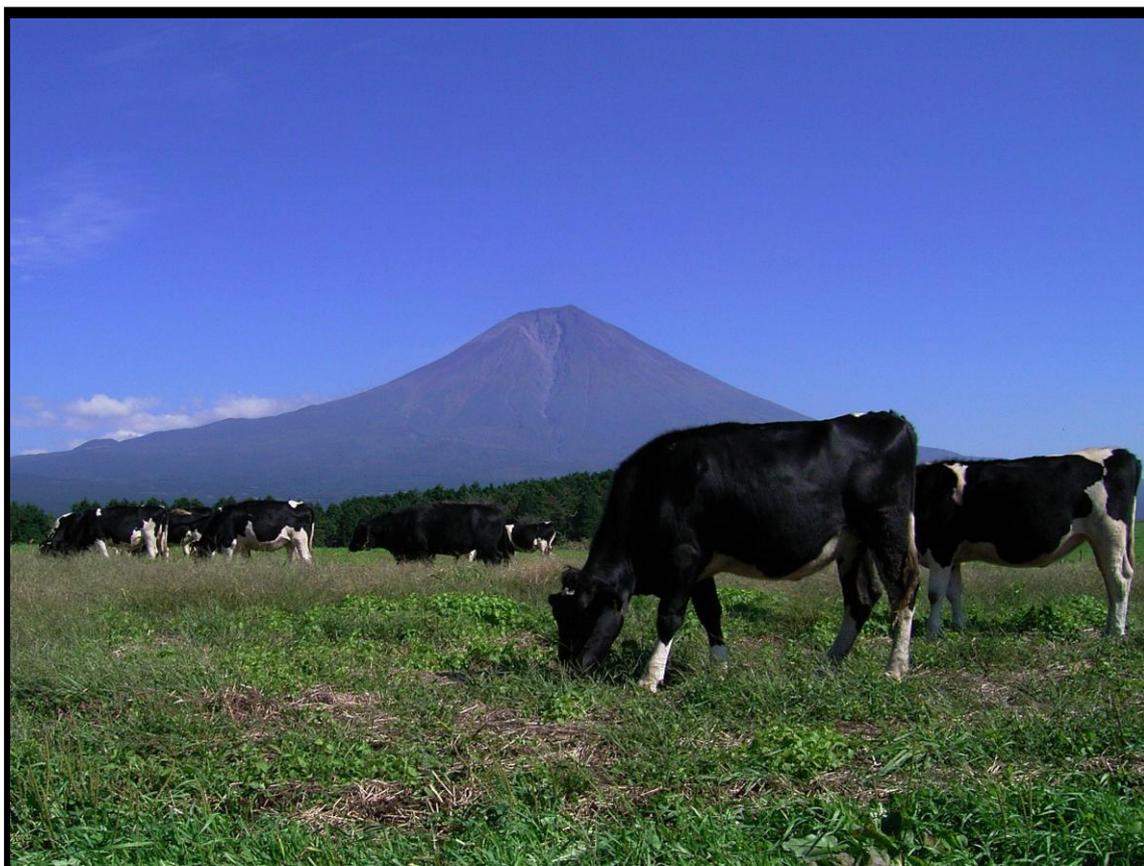


がんばる畜産を応援します



社団法人 静岡県畜産協会

社団法人 静岡県畜産協会のなりたち

(社) 静岡県畜産協会は、静岡県が定めた外郭団体統廃合推進計画に基づき (社) 静岡県家畜畜産物衛生指導協会 (昭和49年4月1日設立) と (社) 静岡県畜産会 (昭和30年12月19日設立) が合併し、存続団体となった (社) 静岡県家畜畜産物衛生指導協会の名称を (社) 静岡県畜産協会として平成14年4月1日に再発足した。

その後、平成18年3月に (社) 静岡県畜産物価格安定基金協会と合併し、共通管理部門を統括する組織として総務課を新たに設け、衛生指導部、経営指導部及び価格安定部としました。

また、平成18年4月より静岡県家畜共同育成場 (天城哺乳場・放牧場) の指定管理者 (再指定 平成20年4月1日から3年間) として酪農の後継牛の育成業務に取り組んでおります。

○ 業 務 内 容

- ・家畜衛生指導に関する業務
- ・畜産経営指導に関する業務
- ・肉用牛等の畜産物の価格安定に関する業務
- ・畜産関係団体の指導に関する業務と畜産関係団体の事務受託業務
- ・指定管理者として天城ほ乳場・放牧場の管理と後継牛の育成業務

○ 会 員

区 分	会員数	摘 要
静岡県	1	
市町	35	
県農業協同組合連合会	7	県農協中央会 県信連 県経済連 全共連静岡県本部 県農業共済連 県開拓連 県酪連
県団体等	12	市長会 町村会 県獣医師会 県信用保証基金協会 県ホルスタイン協会 県養豚協会 県養鶏協会 県養蜂協会 県配合飼料基金協会 県家畜商組合 地域推協4
農業協同組合	26	
乳業会社・工場	10	
合 計	91	

○ 基本財産等 (平成23年3月31日現在)

区 分	金 額	摘 要
基本財産 136,940,000円	家畜衛生出資金	21,940,000円 県、市町
	生乳出資金	50,000,000円 県、農業団体、乳業会社・工場
	価格安定出資金	55,000,000円 県
	理事会議決出資金	10,000,000円
特定資産 637,971,031円	寄託金資産 (家畜衛生)	8,420,000円 農業団体
	寄託金資産 (子牛)	55,120,000円 農業団体
	運営基盤強化基金	140,000,000円 農業畜産振興機構
	死亡獣畜処理円滑化基金	300,300,000円 県、市町、農業団体
	酪農ヘルパー円滑化基金	134,131,031円 機構、県、生産者団体、酪農家個人
合 計	774,911,031円	

○ 組織体制



○ 衛生指導部

1 家畜衛生対策

① 自衛防疫推進対策

自らの家畜は自ら守るという家畜自衛防疫の趣旨の徹底を図るため、本協会の会員と関係機関で構成する推進調整会議を開催し、自衛防疫に関する知識の啓蒙・情報の周知徹底を図るとともに家畜衛生情報を提供する。

- ・自衛防疫推進運営委員会の開催
- ・指定獣医師研修会・講演会の開催

②家畜生産農場清浄化支援対策（家畜衛生対策推進協議会委託事業）

ヨーネ病及びオーエスキー病の防疫対策、清浄農場維持支援対策及び吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止対策を推進し、家畜の損耗防止を図る。

- ・オーエスキー病清浄化対策の実施 ②実績 16戸 2,104頭 ③計画 20戸 3,600頭
- ・伝染病発生・流行防止対策事業の実施

③家畜防疫互助基金造成等支援対策（農畜産業振興機構補助事業）

口蹄疫、豚コレラ等の悪性伝染病が発生した場合、国と生産者等が造成した家畜防疫互助基金の円滑な運営の支援を図るため、家畜防疫互助金交付契約の締結を推進する。契約した疾病が発生した場合は、互助契約した生産者等に対して、飼養家畜のとう汰互助金、経営支援互助金及び焼却・埋却等互助金を交付し、経営の再開を支援する。

- ・業務対象年間（平成 21 年度から 23 年度）の家畜防疫互助基金の契約状況
 契約戸数 537 戸（牛 436 戸、豚 101 戸）
 契約頭数 牛 45,312 頭、豚 102,835 頭

④死亡牛緊急検査処理円滑化対策（家畜衛生対策推進協議会委託事業）

国内で生産される牛肉の安心・安全の信頼を回復するため、BSE 対策特別措置法が制定され、平成 15 年 4 月から 24 ヶ月齢以上の死亡牛の BSE 検査が義務づけられた。このため死亡牛の検査場所への輸送経費及び BSE 陰性と判定された死亡牛のレンダリング施設への搬入と処理経費の一部を助成し、農家負担の軽減を図る。

- ・死亡牛検査処理安定化対策の実施 ②実績 479 戸 846 頭 ③計画 500 戸 900 頭

⑤予防接種対策

家畜の伝染性伝染病の発生を未然に防止するため、特に畜産経営上、重要な伝染病について予防注射を実施する。

2 死亡獣畜処理円滑化対策事業

畜産農家から発生する死亡獣畜の適正かつ円滑な処理体制を確立するため、県、市町、生産者団体からの出資金等により設置された「死亡獣畜処理基盤強化基金」を当協会が運用管理し、その運用益をもって死亡獣畜処理を民間業者に業務委託し、死亡獣畜の適正な処理を行う。

- ・強化基金の管理 300, 300 千円を国債、県債、社債等で運用し、年間約 4, 400 千円程度をこの業務のために充当する。
- ・冷却運搬車両の設置場所
 富士宮市 2 台（⑬導入 1 台、⑰導入 1 台）
 浜松市 2 台（⑰導入 2 台）



平成 19 年度導入冷却運搬車両

・年間車両運搬実績 平成 22 年度実績 単位：頭

区分	乳用牛	肉用牛	豚	その他	計
東 部	636	348	1,319	13	2,316
中 部	21	38	10	3	72
西 部	221	295	3,120	12	3,648
合 計	878	681	4,449	28	6,036

○ 経 営 指 導 部

1 経営指導対策

①畜産振興補助事業（県・地方競馬全国協会補助事業）

静岡県及び地方競馬全国協会の補助を受けて畜産振興施策の円滑な推進を図るための県行政の補完と支援を目的に、畜産経営指導・総合指導推進・馬事畜産振興推進・団体業務合理化等の事業を実施する。

②畜産フェア開催事業（静岡県補助事業）

優良家畜・畜産物を一堂に集め、県内で飼育された家畜の改良水準と肥育技術を広く示し、改良増殖の推進と飼育管理技術の向上を図るため「第50回農林水産祭参加、第84回静岡県畜産共進会」を開催した。また、平成23年度についても、「第51回農林水産祭参加、第85回静岡県畜産共進会」として、平成22年度と同様の規模で開催する。

- ・②実績
 - ・種豚の部 平成22年11月11日（木）静岡県経済連袋井常設家畜市場
 - ・乳牛の部 平成22年11月9日（火）静岡県経済連三島常設家畜市場
 - ・肉牛の部 平成22年12月4日（土）浜松市食肉地方卸売市場

③牛群検定普及定着化事業（静岡県補助事業）

酪農経営の技術向上のため、科学的なデータによる家畜改良を推進するため、全国的に統一した手法により、牛群検定を実施し優良乳用牛の選抜と確保を図る。

- ・②実績 3検定組合 65組合員 2,720頭

④畜産経営体支援指導対策

畜産情勢の急な変化や多様化する畜産経営に的確に対応するためには、生産性が高く経営感覚に優れたビジネス畜産経営体を育成することが重要である。そのため、畜産コンサルタントによる経営改善指導、規模拡大等に対する融資相談、畜産環境対策のための施設設計指導・処理技術の定着化と改善指導を積極的に実施する。併せて、先進畜産経営体の経営と飼養管理技術の分析を行い、経営技術の高度化と情報の収集・提供等を行う。

◎ ②実績

- ・畜産コンサルタント団の設置

総括畜産コンサルタント 1名

畜産コンサルタント 4名

非常勤畜産コンサルタント 15名

合計 20名

- ・畜産経営体支援指導研究会 8回

- ・個別経営体指導
 - 総合指導 6件（酪農1件、肉用牛5件）
 - 担い手育成管理 4件（酪農2件、肉用牛2件）
 - 特定生産技術改善指導 25件（酪農21件、養豚4件）
 - フォローアップ指導等の個別指導 47件

- ・グループ型支援指導
 - 地域集団生産技術指導 2集団
 - 地域活動支援指導
 - 畜産経営者セミナーの開催

- ・畜産経営関係ホームページの整備
- ・情報誌等の提供

⑤乳用牛群総合推進事業（静岡県受託事業）

乳用牛群の能力を総合的に調査し、優良乳牛の選抜確保と効率的な飼養管理並びに検定済み種雄牛による計画的繁殖を行い、本県の酪農経営の振興を図る。

⑥乳用種雄牛後代検定システム高度化事業（家畜改良事業団補助事業）

国内利用する検定済み種雄牛を選抜するため、事業団より配布される候補種雄牛の精液を牛群検定農家の協力を得て、荒廃され生まれた娘牛の能力検定を行う。

⑦家畜排泄物利活用推進事業（農畜産業振興機構補助事業）

「家畜排泄物の適正な処理と利用の促進に関する法律」に基づき、畜産経営体の家畜ふん尿処理施設整備計画の支援・技術指導を行うとともに畜産経営に起因する環境問題の解消及び家畜排せつ物処理技術の啓発・普及を行なうため、調査指導を実施した。また、処理され生産された良質堆肥の流通を促進するため、

耕種農家との連携の場づくりや良質堆肥の利用実態を調査し得られた情報を整理しHP等で提供した。

⑧畜産特別資金借受者指導推進事業（中央畜産会受託事業）

畜産特別資金借受者の経営改善の進捗状況を把握し、改善計画達成のため指導を実施する。

- ・⑫実績 肉牛経営 4件

⑨改良増殖技術実態調査事業（中央畜産会受託事業）

県内の家畜飼養頭羽を調査し、各種畜産施策のためのデータを収集した。

⑩多様な肉用牛経営実現支援事業（農畜産業振興機構補助事業）

肉用牛生産基盤の安定を図るため、酪農を活用した受精卵移植による肉用牛の生産及び肉用牛ヘルパー活動の支援を行い、県内の肉用牛の増頭に努めた。

- ・⑫実績 受精卵移植頭数 頭、ヘルパー利用組合への助成

⑪畜産近代化リース事業（(社)畜産近代化リー協会受託事業）

畜産近代化リース協会からリースされた物件の適正な利用状況調査を実施とした。

- ・⑫実績 23件の物件を調査した。

⑫馬事畜産振興推進対策

畜産関係機関・団体の協力を得て、地方競馬全国協会が実施する畜産振興補助事業の円滑な推進を図るとともに、競馬振興及び畜産物に対する認識を高める催しを開催した。

静岡県畜産特別競争（冠レース）

川崎・名古屋競馬場

⑬普及広報活動

畜産経営技術指導・調査事業に係る資料の作成・配布、中央畜産会等の優良図書の紹介・提供を行なった。

- ・「畜産コンサルタント誌」
- ・「畜産会経営情報」等
- ・協会HPの更新と情報の発信

2 家畜共同育成業務

静岡県では、昭和42年に家畜資源（牛）の確保と畜産経営の安定及び県民に安全・安心な牛乳や乳製品及び牛肉の供給を図るため、伊豆市湯ヶ島及び西伊豆町宇久須にまたがる西天城高原に天城哺乳場・放牧場と家畜糞尿をエネルギーに転換するバイオマスプラントを設置した。この施設の管理を指定管理者法人として県知事から指定された当協会は家畜育成業務を受託し、畜産業を営む経営体から後継牛の子牛を預かり足腰の強い後継牛を育成した。

- ・所在地 伊豆市湯ヶ島及び賀茂郡西伊豆町の西天城高原に位置し、牧場面積は125ha
- ・主要施設 哺乳牛舎1棟（自動哺乳器機一式）、育成牛舎2棟（収容可能頭数400頭）、放牧育成牛舎（収容可能頭数210頭、屋根付きパドック併設）
避難牛舎1棟（収容可能頭数50頭）、隔離牛舎1棟
5トン規模のメタン発酵プラント一式、縦型コンポスト2基、堆肥舎

基本的な育成スケジュール



- ・疾病対策として、6ヶ月齢時に結核病、ブルセラ病、ヨーネ病、白血病の検査を実施し、牧場の清浄正を維持します。

また、予防注射は、3ヶ月齢時に5種混合ワクチンを接種し、放牧に当たっては、牛肺虫症及びピロプラズマ症の検査を実施します。

- ・②実績 延べ育成頭数 160,426頭

区 分	H22年度計画頭数	H22年度実績頭数	計 画 比
哺 乳 場	76,764頭/年	75,816頭/年	98.9%
放 牧 場	70,100頭/年	69,474頭/年	99.1%
畜産技術研究所	15,136頭/年	15,136頭/年	100.0%
計	162,000頭/年	160,426頭/年	99.0%

静岡県家畜共同育成場「天城ほ乳場・放牧場」全景



3 酪農ヘルパー事業円滑化対策事業

酪農後継者の円滑な就農と酪農経営の安定的発展に資するため、平成3～4年度に造成した事業基金「2億円」を運営管理し、基金運用益並びに実施計画で定められた範囲内で基金を取崩すとともに事業を実施する利用組合より負担を求め、酪農ヘルパー事業を実施する利用組合組織の事業推進や酪農ヘルパー要員の養成を図るための事業を実施する。

なお、平成22年度は、廃業14戸で当期末の基金加入農家数は271戸となった。

- ・②実績 10組合 223組合員 対象頭数 11,509頭
- ・傷病時の互助事業 24人 延べ530日

4 畜産関係団体の事務受託

畜産経営に必要なホルスタイン登録協会の業務、家畜人工授精師協会の業務及び良質たい肥生産流通促進協議会の業務等の畜産関係団体等の事務を受託した。

○ 価格安定部

1 肉用子牛生産者補給金の交付

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、協会と契約生産者との契約を締結し、補給金の交付を行い、肉用子牛の再生産のための支援を行う。

- ・第5次業務対象年間 平成22～26年度

- ・補てん金交付契約締結状況
個人 68戸、法人 1戸 計 69戸
- ・平成22年度肉用子牛保証価格、合理化目標価格及び平均売買価格

(単位：円)

区分	保証基準価格	合理化目標価格	H20年度第4四半期(1～3月期)	H21年度第1四半期(4～6月期)	H21年度第2四半期(7～9月期)	H21年度第3四半期(10～12月期)
黒毛和種	310,000	268,000	376,200	381,600	360,900	397,400
褐毛和種	285,000	247,000	279,100	277,200	301,800	317,800
その他肉専	204,000	142,000	194,600	168,200	132,900	121,600
交雑種	181,000	138,000	237,000	250,000	245,500	273,600
乳用種	116,000	83,000	91,700	84,400	74,000	87,100

- ・生産者積立金造成状況

区分 品種	契約頭数 (頭)	積立単価 (円)	積立額 (円)	負担区分		
				(独)農畜産業振興機構 (円)	静岡県(円)	生産者(円)
計	4,672	—	38,655,000	19,327,500	9,663,750	9,663,750

- ・生産者補給金交付状況

区分	補給金単価 B/A(円)	交付頭数 A(頭)	補給金総額 B(円)
22年	1～3月期	369	8,966,700
	4～6月期	308	9,741,200
	7～9月期	478	19,645,800
	10～12月期	471	13,611,900
合計		1,626	51,965,600

2 肉用牛肥育経営安定対策事業

①肉用牛肥育経営安定対策事業(平成21年度第4四半期)

- ・補填金交付契約締結状況
個人 116戸、法人 3戸 計 119戸
- ・平成21年1月～3月期における生産者積立金造成状況

(単位：頭・円・円/頭)

品種区分	期間	契約肥育牛頭数	生産者積立金単価	地域基金造成負担区分		合計
				生産者積立金積立額	補助金	
肉専用種	平成22年1月～3月	935	14,900	13,931,500	2,235,000	16,166,500
交雑種		1,164	8,300	9,661,200	29,631,000	39,292,200
乳用種		872	5,300	4,621,600	8,904,000	13,525,600
計	—	2,971	—	28,214,300	40,770,000	68,984,300

・ 補てん金交付状況

(単位：頭、円)

品 種	対象期間	四半期平均 推定所得* (A)	基準家族 労働費 (B)	差額 (家族労働費が上限) (A)-(B)	補てん金単価 (差額×0.8) (C)	補てん 頭数 (D)	補てん 総額 (C)×(D)
肉専用種	1-3 月期	△16,380	74,422	△59,500	59,500	875	52,062,500
交雑種	1-3 月期	△55,988	41,310	△33,000	33,000	1,389	45,837,000
乳用種	1-3 月期	△34,721	28,455	△22,700	22,700	597	13,551,900
合 計						2,861	111,451,400

②肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業 (平成 21 年度第 4 四半期)

肥育牛特別補填金交付状況

区分	品種区分	交付対象		肥育牛特別補てん金額	
		人数 (人)	頭数 (頭)	単価 (頭/円)	交付額 (円)
総合計	肉専用種	38	875	9,800	8,575,000
	交雑種	47	1,389	33,500	46,531,500
	乳用種	9	597	20,800	12,417,600
	合計	94	2,861	—	67,524,100

③肥育牛経営緊急支援事業 (平成 21 年度第 4 四半期)

肥育牛経営支援奨励金交付状況

区 分	品種区分	交付対象実績		経営支援奨励金交付実績	
		人数 (人)	頭数 (頭) ①	単価 (頭/円) ②	交付額 (円) ③
平成20年度第2四半 期 (平成20年4~12 月)	肉専用種	40	942	17,000	16,014,000
	交雑種	60	1,658	17,000	28,186,000
	乳用種	22	610	17,000	10,370,000
	計	122	3,210		54,570,000

3 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

平成 22 年 4 月より新たな肉用肥育牛の経営安定対策として、肉用牛肥育経営安定対策事業が平成 22 年度から 24 年度を業務対象年間として実施されることとなった。

この事業は、肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に生産者の拠出と国の補助金により造成した基金から、粗収益が生産費を下回った場合に、差額の 8 割を補填する。

・ 補填金交付契約締結状況

個人 111 戸、法人 6 戸 計 123 戸

・ 肥育牛地域基金造成状況

年 度	品 種	契約肥育牛頭数 (頭) ①	生産者積立金 単価 ②	地域基金造成負担区分		合 計 ③+④
				生産者積立額	機構補助金	
				①×②=③	①×②×3=④	
22	肉専用種	2,857	20,000	57,140,000	171,420,000	228,560,000
	交雑種	4,202	27,800	116,815,600	350,446,800	467,262,400
	乳用種	2,093	15,000	31,395,000	94,185,000	125,580,000
	合 計	9,152		205,350,600	616,051,800	821,402,400

・補填金の交付実績

年度	品種	対象期間	四半期平均	平均	差額	補てん金単価	補てん	補てん
			粗収益	生産費	(家族労働費が上限)	(差額×0.8)	頭数	総額(円)
			(A)	(B)	(A)-(B)	(C)	(D)	(C)×(D)
22	肉専	4-6月期	822,668	879,536	▲ 56,868	45,400	902	40,950,800
		7-9月期	820,208	865,762	▲ 45,554	36,400	935	34,034,000
		10-12月期	864,080	849,405	14,675	-	-	-
	交雑	4-6月期	520,946	567,292	▲ 46,346	37,000	1,232	45,584,000
		7-9月期	509,625	596,305	▲ 86,680	69,200	1,190	82,348,000
		10-12月期	570,435	610,073	▲ 3,638	31,700	1,445	45,806,500
	乳用	4-6月期	312,714	382,686	▲ 69,972	55,900	618	34,546,200
		7-9月期	295,019	382,350	87,331	69,800	690	48,162,000
		10-12月期	299,167	370,450	▲ 71,283	55,000	779	42,845,000
	肉専用種 計						1,837	74,984,800
	交雑種 計						3,867	173,738,500
	乳用種 計						2,087	125,553,200
合 計						7,791	374,276,500	

4 肉豚価格差補てん事業

本事業は、平成21年度末の補填基金の残額を農畜産業振興機構、静岡県及び生産者に返還し、基金を閉鎖しました。



静岡県の畜産概要

○平成20年農業粗生産額

農業産出額	畜産産出額	農業産出額に占める畜産の比率
2,281億円	389億円	17.0%

家畜飼養動向

○酪 農 平成22年2月1日現在 関東農政局静岡農政事務所公表

飼養戸数	飼養頭数	1戸当り飼養頭数
314戸	15,900頭	50.6頭

○肉 用 牛 平成22年2月1日現在 関東農政局静岡農政事務所公表

飼養戸数	飼養頭数	1戸当り飼養頭数
199戸	25,600頭	128.6頭

○養 豚 平成21年2月1日現在 関東農政局静岡農政事務所公表

飼養戸数	飼養頭数	1戸当り飼養頭数
168戸	129,100頭	768頭

○採 卵 鶏 平成21年2月1日現在 関東農政局静岡農政事務所公表

飼養戸数	飼養羽数	1戸当り飼養羽数
85戸	3,027千羽	35,600羽

○肉 用 鶏 平成21年2月1日現在 関東農政局静岡農政事務所公表

飼養戸数	飼養羽数	1戸当り飼養羽数
42戸	1,486千羽	35,380羽

社団法人 静岡県畜産協会

〒420-0838 静岡市葵区相生町14番26-3号 県獣医畜産会館内

ホームページ <http://shizuoka.lin.go.jp>

・衛生指導部 TEL <054> 053-3218 FAX <054> 253-3215

E-mail : eisei@schiku.ecnet.jp

・経営指導部 TEL <054> 274-0210 FAX <054> 253-3215

E-mail : keiei@schiku.ecnet.jp

・価格安定部 TEL <054> 274-0220 FAX <054> 253-3215

E-mail : hiiku@schiku.ecnet.jp

家畜共同育成場天城放牧場 〒410-3206 伊豆市湯ヶ島892-2

TEL <0558> 85-1172 FAX <0558> 85-1511